

チョコバナナパフェ

今日は、幼稚園が終わってから、娘の友だちが遊びに来ました。こんなときは、ついつい「素敵なお母さん」を演じたくなってしまいます(笑)。



私が子どもの頃の話。関東から引越してきた姉の友人宅では、遊びに行くとおやつに「ピザ」が出たそうです。「ピザってどんな味？」なレベルの私は、そのお母さんを見かけるたびに素敵なお母さん♪とっていました。

つまり…、ハイカラなおやつを出してくれる=素敵なお母さん♪

子どものときに受けた衝撃はなかなか変わらないもので、いまだにその考えが私を支配しています(笑)。

というわけで、今日はどんなおやつにしよう？と考えた結果…「チョコバナナパフェ」に決定。といっても、安い材料でできてしまう簡単なもの。ガラスのコップにシスコーン、バナナアイス、バナナ、生クリームを入れ、最後にチョコクリームをかけて完成!



お友だちも娘も「パフェ!」と喜んでくれていました。

が、パフェをハイカラなおやつと思っているのは私だけ…? 自己満足なお母さんでした♪(mikiko/交野市)

いろいろいるね、いろいろいるよ

「子どもと子どもがケンカして/くすりやさんがとめたけど/なかなか なかなかとまらない/ヒトたち笑い/親たちやおこる」……両手を合わせて、小指から順にリズムに合わせて指を合わせるわらべ唄遊びです。



わが子かわいい。のめり込んだら、子ども同士のけんか(意見の食い違い)は親同士のけんかに発展することもあるでしょう。もし、わが子の前に立ちはだかる悪の大王を目前にしたら、お母さんはきつと両手を広げてその前に分け入るでしょう。次の瞬間…お母さんが犠牲になってしまったら、子どもは自分で対処します。「逃げる」「立ち向かう」「助けを請う」さて、わが子はどう対処するでしょうか? きっと三人三様なのでしょうね。犠牲になるのも方法だけれど、わが子の対処方法を見極めてギリギリのところまで応援に徹するという方法もあるかもしれません。



こんな私、身勝手な親といわれるかな? 「子どものけんかに親が出る」「子どものけんかは知らんぷり」「子どもの喧嘩を裏であやつる」親にもいろいろいるんだね。(大谷聡穂/相模原市)

桜の飛翔に微笑む

毎年この時期は、少しだけナーバスになっていました。それは、一番上の娘と、さよならした季節だから。

満開の桜に雪が降っていたな、あのときは。満開の桜を見ると、また散っちゃうのか…って娘と重なって、寂しくなったり。「散らないで〜」って心が叫ぶんです。



でも今年は何かが違います。寂しくない。娘のさくらは散らずに、私の心の中にしっかり

り咲いているからなんです。

私のお気に入りの一文があります。『散るという飛翔のかたち花びらはふと微笑んで枝を離れる』。今年は桜が散っていくのを涙でなく、微笑んで眺められそう。また来年ね、って。

「今こんなに幸せなのは、さくらねーちゃんのおかげだよ」って子どもたちに話しました。

すると、「だって、さくらねーちゃん、いないよ」と息子。「いるんだよ、ここに」って胸に手をやると、「ここ? いのち?」と息子は言いま



た。ナイスな答えに私はうれしくなって「そう、いのちだよ〜」って。

さくらはやっぱり、私たちと一緒に生きてるんだ!と、なんだかうれしい春を迎えています。こんな春を迎えられることに感謝です。(内田恵利/横浜市)

音楽と生活のバランス

息子が幼稚園に入り時間ができたので、いろいろと考えています。もっとユーホニウムの生徒を増やしたいと思っています。それには演奏活動をしないとイケませんし、練習も必要です。でもそんなに急に生徒が増えるわけではないので、生活のために、少しはパートに出たほうがいいのかなと、頭の中ではぐるぐると思いが回っています。



私にとっての音楽は、お金ではなく、音で伝えたい、つながりたいという思いです。教室の生徒や、演奏会を聴いてくださるお客様との出会いやつながりを、もっと広めていきたいと思っています。

今まで人に「音楽で生活できるわけがない」「お母さんなんだから、お母さん業に専念したら」などと言われ、そのたび悔しい思いをしてきました。もちろん家族の生活が一番。でもいつか私も花を咲かせる時が来る!と信じています。

いろいろ悩んでいるうちに、きっといい方法が見つかると思うし、チャンスも訪れるに違いない。この悩みも、今の私に必要なことな

のかもしれないかと、最近思うようになりました。

最近よく演奏会をやってほしいと言われます。お母さん大学でも、演奏会ができないかなあ。音楽の授業なんてどうだろう。誰かが他の科目をやってくれて、一緒にできたら面白そう…。でも私、企画なんて初心者だしなあ。とにかく一歩ずつ前向きに動いていきます。(レイノルズ有紀子/京都市)

お母さん業界新聞定期購読申込受付中!

「お母さん業界新聞」にはお母さんたちの思いがいっぱい。新聞を読んだ人はみんな笑顔に。幸せの連鎖が生まれています。

お母さん業界新聞の特徴

- お母さんによる、お母さんのための新聞
- 全国350人のお母さん記者がマザージャーナリズムの視点で発信
- 日々の子育ての発見や感動、喜びや悩みなど気づき情報が共感(響感)を生む
- 地域のお母さんによる手配りほか、全国の公共施設など、独自の配布ルート
- 「お母さん」を感じる新聞
お母さんはスゴイ! 子育ては素晴らしい!
- 既存の商品やサービス広告は一切掲載していない
- 企業のフィルターがかかっていない情報の信憑性

※定期購読は年間3000円。
8頁の申込用紙でお申し込みいただけます。
トランタンネットワーク新聞社まで。

子育て応援団 (企業・団体) 募集!

『月刊お母さん業界新聞』は、一般のフリーペーパー(広告紙)ではなく、子育てをしているお母さんたちが、心から笑顔になるための媒体です。この新聞をひとりでも多くの母親たちに読んでいただけるように、子育て応援団(企業・行政・団体)を募集しています。企業のCSR、地域の活性化、子育て支援、社員教育、販売促進、企業のノベルティ、プロモーション版など、『月刊お母さん業界新聞』のコンテンツを活用したプロモーションをご提案します。

株式会社トランタンネットワーク新聞社
 【お母さん大学】 <http://www.okaasan.net/>
 【トランタン新聞社】 <http://www.30ans.com/>